



スペシャルオリンピックス(SO)は、知的障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織です。活動を通して彼らの自立と社会参加を促進し、生活の質をより豊かにすることを目的に活動しています。また、SOではこれらのスポーツ活動に参加する知的障害のある人たちを"アスリート"と呼んでいます。

2019ボウリング競技会の様子



ご挨拶

「広がる理解と支援の輪」

NPO法人
スペシャルオリンピックス日本・岩手

理事長 平野 ユキ子

今年を振り返りまして、特筆すべきことがありました。SON・岩手への大きな理解と支援の輪が広がったことです。

まず、『東北電力労組』様から、大きな理解と支援を頂いたことを挙げたいと思います。連合労組の岩手支部様からは、これまでも多大なご寄付を戴いておりました。今年は更にその御縁により東北電力労組本部様からも、多額のご寄付をいただくこととなり、それはアスリートたちへユニフォームの寄贈という素敵なプレゼントとなりました。この贈呈式は『ボッチャ交流会』の時に行列、マスコミの取材を受けて報道もされました。電力労組の方々に於かれましては、普段の活動にもボランティアとしてご参加いただき、日頃からSON・岩手をご理解いただいております。(詳細別記)

それから、ライオンズクラブ様との提携が広がったことも今年の大きな理解と支援の輪の広がりとして挙げたいと思います。2年前に、日本ライオンズクラブとスペシャルオリンピックス日本との間に正式にパートナーシップが締結されましたが、それを受け今年度の岩手県のカバナー方針の一つに『SON・岩手を支援する』ことが取り入れられました。そのお蔭で、カバナーの公式訪問(全県のライオンズクラブを回る訪問)の時に同行して、「SON・岩手」の活動を全県に紹介させていただく機会が実現しました。

その後、県内の各ライオンズクラブおよび会員様からご寄付を頂いたり、更にSON・岩手の活動(ボッチャ交流会、コーチクリニック、各競技会など)に県内のライオンズクラブの会員様が参加して下さる機会が増え、SON・岩手の活動を実際に体験して頂き、理解を深めて頂いたことは大変嬉しいことでした。私たちの活動の輪が県内にさらに広がったように思いました。(詳細別記)

来年は、冬季ナショナルゲームが札幌で開催されます。岩手からの参加者は、団長コーチ等合せて選手団が6名、うちアスリートが3名と残念ながら今回は少ない参加者にとどまりましたが、今年のこうした理解と支援の輪を足掛かりとして、来年からSON・岩手を更に飛躍へと結び付けていきたいと願っています。この場をお借りしてご理解とご支援を賜りました皆様に改めて感謝を申し上げ、ご挨拶といたします。

「ともに生き、ともに拓く」 「2020年第7回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・北海道」

開催日程 : 2020年2月21日(金)~23日(土・日)の3日間

2月21日(金) 開会式 (会場 : 北ガスアリーナ札幌46)

2月22日(土) 競技予選(ディビジョニング)

2月23日(日) 競技決勝 表彰 閉会式

※SON・岩手では3名のアスリートが
スノーシューイングに出場予定です。

アスリート : 鶴原 ゆうか、福島 颯太、和田 晃

団長:福島 淳 ハンドコーチ:阿部 眞喜子 追加スタッフ:和田 美音

スノーシューイング会場 : 飛鳥山公園(江別市)

22日(予選)、23日(決勝)

「2021年スペシャルオリンピックス
冬季世界大会・スウェーデン」
(2021年2月5日~12日開催)
の派遣選手選考を兼ねています。

みんなで頑張るアスリートを
応援しましょう!



Special Olympics Nippon
HOKKAIDO2020
National Winter Games



陸上競技会

＜阿部 均 ヘッドコーチ＞

去る9月15日（日）ふれあいランド陸上競技場で8名のアスリートにより、競技会を実施しました。競技会内容として、100m走は全員で、50m・1,500mは選択種目とし、ソフトボール投げは全員で競技会を行いました。



ナショナルゲームを想定し、「アスリート宣言」「競技会の注意事項」「表彰式」「メダル授与」読売新聞記者の取材もあり緊張感をもって実施しました。この競技会の実施にあたり、ファミリー・ボランティア全員の協力のもと終了したことをここに報告させていただきます。

岩手山焼走りマラソン

7月7日（日）八幡平市で開催された岩手山焼走りマラソンに10キロコースに3名、5キロコースに2名、ファミリーコース（ペアで2キロ）に3組、総勢11名で参加しました。

当日は暑くなく走りやすい天候に恵まれました。大会には以前から個人で参加されているアスリート、ファミリーもいましたが、昨年から陸上競技プログラムに参加している皆さんに声をかけ、今年は2回目の参加です。アスリートはスタート前は緊張の様子がみられましたが、10キロコースは昨年よりタイムを短縮することができ、5キロコースはファミリーコースから変更してトライしました。ファミリーコースはお母さん方とペアを組み頑張りと、全員完走することができました。アスリートは完走後、頑張った事により充実した表情でした。

一般の方々が大量参加する大会の中で走る経験が今後の成長に繋がる事が出来れば嬉しく思います。

＜阿部 眞喜子コーチ＞



陸上競技・スノーシューイングプログラム合同合宿

陸上競技・スノーシューイングプログラムを7/20（土）～7/21（日）に陸前高田市大野海岸の砂浜で、宿泊施設は岩手県立福祉の里センターで、アスリート7名、コーチ・ボランティア7名、ファミリー5名、総勢19名で実施しました。

二日間天候に恵まれ、普段は陸上競技は陸上競技場で走ったり、投てきなど、スノーシューイングは雪上でトレッキングや走ったりの活動をしていきますが、今回は慣れない海岸の砂浜での活動のため一日目は思うようにいきませんでした。砂に足を取られ、なかなか走ることが出来なかったり、スノーシューを履いて走ることが難しかったり、砂がシューズの中に入り気になり、いつも通りにいかず戸惑っているアスリートもみられました。しかし二日目になるとスムーズに走ることが出来るようになりました。

宿泊では夕食後、おたのしみ交流会を開催しました。ポッチャを全員参加で、ファミリーから提供して頂いた景品を目指し盛り上がりしました。

全プログラム終了後、気仙 brunch の金野さんの作業場をお借りしBBQで打ち上げを行いました。アスリートは疲れた様子もみられましたが、お肉や提供して頂いた美味しいホタテを食べて満面の笑みで満足そうでした。

二日間の合宿で、コーチは普段の活動では見ることの出来ないアスリートの様子が分かり、仲間意識も深まり大変良い経験ができました。

＜阿部 眞喜子 ヘッドコーチ＞



ゴルフプログラム

ゴルフ競技会

＜高橋 精一 ヘッドコーチ＞

今年のゴルフプログラム参加者は、男子アスリートが3人加わり一挙に7名になりました。従来の北松園の練習場が閉鎖になり、プログラム会場を変更することと合わせて嬉しくも難しいスタートでしたが、アポロリンクスさんと南部富士さんのご協力で無事にプログラムを終えることが出来ました。簡単に最後に行われた大会の模様をお伝えします。今年はライオンズクラブさんが本格的に支援され、サポーターとして応援されるとのことで、リハーサル競技会を9月に開き、本大会を10月6日に開催しました。当日は曇天でしたが幸い降雨にならず、大勢のライオンズクラブの皆さんと、東京からサポーターの吉村さんも駆けつけ、平野理事長のもと盛大な競技会になりアスリートも緊張気味でしたが、記録は昨年を大きく超える素晴らしい結果になり、来年以降に期待が高まりました。



アポロリンクス
での練習
風景



＜アスリートの感想＞ 根反 悟樹さん

南部富士カントリークラブに平野理事長やライオンズクラブの皆さんが来て下さいました。当日ははじめ雨が降っていましたが、どんどん晴れてきました。最初練習をしてから競技会本番です。「打つ時はボールから目を離さないように」「クラブを持つときには印のところが空を向くように」とサブコーチに教えてもらったので、意識して臨みました。僕は青年の部で2位でした。とても楽しかったです。来年もゴルフをするのが楽しみです。ボランティアの皆さんにも来ていただきました。平野理事長、ライオンズクラブの皆様ボランティアの方々ありがとうございました。アスリートの皆さん、ご家族の皆さんお疲れ様でした。

ボウリングプログラム

ボウリング競技会

＜小野寺 弘純ヘッドコーチ＞

ボウリング競技会を11月17日（日）午前10時から盛岡市中野一丁目の盛岡スターレーンで行いました。参加したアスリートは男子3人、女子3人の計6人。今年から新たに加入したアスリートや気仙ランチからも参加して楽しいゲームが展開されました。今回はライオンズクラブの7人の皆様にボランティアでご協力いただきました。アスリートがストライク、スペアを出すたびに明るい笑顔でハイタッチでの祝福。会場は大歓声で大きく盛り上がりしました。



＜アスリートの感想（写真の左から）＞

上川原一樹さん・・・上手に出来ました
三島弘太郎さん・・・怪我なくおわってよかった
菅野一馬さん・・・みんなと楽しくやれてうれしかった
法領田良子さん・・・みんなと一緒にやれて楽しかった
三島史子さん・・・ボランティアの皆様に来ていただいて嬉しかった
菊池花菜絵さん・・・楽しかった



菅野一馬さん：スマイル12
表紙のボウリング写真



ボランティアの皆様の感想

アスリートの皆が上手でびっくりしました。楽しく応援できて嬉しかったです。
今度はみんなと一緒にボウリングをプレイしたいです。

競泳プログラム・バスケットボールプログラム（記録会）

- ※競泳・バスケットボールプログラム記録会開催日
 ・盛岡市総合プール・・・・・・9月28日（土）
 ・ふれあいランド岩手・・・・・・10月27日（日）
 ・大船渡福祉の里センター・・・・12月中に開催予定
 ・バスケットボール記録会・・・・・・5月26日（日）

ふれあいランド岩手で活動している競泳プログラムでは、10月27日（日）に記録会を開催しました。

前半のアスリートの参加が2名で少なかった事もあり、後半のアスリートと合同で行いました。記録証を渡して、万歳三唱をし、今年一年の成長と頑張りを称しました。

ほぼ皆勤のアスリートもおります。好きだから続けられる。励ましがあるから頑張れる。

今年は競技会は残念ながらありませんでしたが、日々のアスリートの活動の様子は変わりません。金メダルをあげたいと思います。（尚、後日記録会に参加出来なかったアスリートも計測し 記録証を渡して 一年の活動を称えています）

<ふれあいランド岩手 休石 ナル子ヘッドコーチ>



ふれあいランド岩手 競泳プログラム
記録会で吉田コーチと一緒に撮影

コーチクリニック（陸上競技）・ ゼネラルオリエンテーション・アスリート理解

5月19日（日）にふれあいランド岩手を会場にゼネラルオリエンテーションとアスリート理解を行いました。トレーナーとしてSON・北海道の大山祐太トレーナーに来ていただきました。参加人数は25名で、ライオンズクラブの皆さんにもたくさん参加していただきました。



住森玲子トレーナー



田口正彦トレーナー



大山祐太トレーナー

8月18日（日）には、同じくふれあいランド岩手を会場に、陸上競技コーチクリニックとゼネラルオリエンテーションとアスリート理解を行いました。陸上競技コーチクリニックとゼネラルオリエンテーションをSON・栃木の住森玲子トレーナー、アスリート理解をSON・埼玉の田口正彦トレーナーに来ていただきました。こちらも30名という多数の皆さんに参加していただきました。

<岩淵 昌文SP委員長>

盛岡シティマラソンの様子



10月27日第1回盛岡シティマラソンに、SON・岩手アスリートの西條良樹さんが出場しました。高橋友三事務局長は、視覚障害を持つランナーの伴走者としてスタートから全コースの三分の一の距離を走りました。また、いつも競泳プログラムでお世話になっているふれあいランドの指導員の石関さんと阿部さんと高橋さんの3人もランナーとして出場しました。皆さん懸命に走っていました。SON・岩手ではコースの途中2カ所のでランナーの皆さんを応援しました。沿道の盛り上がりもあり、そしてランナーの懸命な走りに感動した大会でした。

東北電力労組様よりウェアの贈呈

【東北電力労働組合様からのウェア寄贈について】 <高橋友三事務局長>

SON・岩手でも他県の地区組織のようにアスリートたちに上下揃いのウェアを新調したいとかねてから考えていましたが、予算的に厳しくこれまで実現できていませんでした。ここにきて厳しいながらも何とか予算的に目処が立ち、今年3月の定期総会において、アスリートたちのウェアの新調を決定し予算化しました。この総会に参加されていた東北電力労組岩手県本部の方が組織に戻ってこのことを話題にして下さり、東北電力労組として私どものウェア新調へ支援して下さいることを決定していただきました。同労組では福祉活動に対して毎年度支援を行っており、今年度はSON・岩手を支援対象に選んで下さったとのことです。

支援のお知らせをいただいて以降、予定を早めて新調するウィンドブレーカー上下の色やデザインを決め、アスリート全員のサイズを確認し、さらに予備も含めて発注しました。

東北電力労組様からは今回新調分のうち56着（約75万円）を現物で支給いただくこととなり、7月28日のポッチャ交流会冒頭の贈呈式において東北電力労働組合岩手県本部委員長の鈴木圭様を通じて平野理事長が目録と一部現物の贈呈を受けました。

東北電力労組岩手県本部様からはこれまでも大口の賛助会員として継続的に支援をいただいていたところですが、今回東北電力労組本部に働きかけて、さらに大きな支援を実現していただき、誠にありがとうございました。東北電力労組本部様並びに同岩手県本部様に厚く御礼申し上げます。

新たなウェアを身につけたアスリートたちが全国大会や東北・北海道ブロック大会等の大舞台で一層の活躍を見せてくれるものと思います。



ユニス・ケネディ・シュライバーデー イベント企画 2019年度 SON・岩手 ポッチャ交流会



指導者：
ふれあいランド岩手
二瓶雅之さん



スペシャルオリンピックス日本・岩手では、ユニス・ケネディ・シュライバーデー(*)に障がいのある人とない人が一緒にスポーツを通じて交流するイベントを企画しています。今年度も7月28日(日)10時より、仁王小学校体育館でポッチャ交流会を行いました。岩手大学の学生さんをはじめ東北電力、トヨタレンタリース岩手・ライオンズクラブの皆様などの企業・団体からも沢山のボランティアが参加してくださいました。遠くは久慈市からボランティアに参加して下さった方もいました。本当にありがとうございました。岩手県教育委員会からのご来賓、そしてアスリート、ファミリー、ボランティア、運営委員、総勢80名が参加しました。(毎年参加者が多くなってきています。)アスリートとボランティアの皆さんは、ポッチャのゲーム以外にも、進行役やそれぞれ役割をもって活動に参加しました。ふれあいランド岩手の二瓶雅之さんの指導のもと全員が真剣にプレーして、お互いに健闘を讃え合いながら笑顔が会場いっぱいになりました。今年の優勝杯は休石周平さん君のチームが獲得しました。そして全員表彰をして万歳三唱は体育館全体に響きわたりました。

* ユニス・ケネディ・シュライバーデー とは

スペシャルオリンピックスの創始者ユニス・ケネディ・シュライバー(没2009年8月11日)の功績を記念して、スペシャルオリンピックス国際本部では「Play Unified to Live Unified (共にスポーツし、共に生きる)」をテーマに、障害のある人とない人が共同で行う活動を展開している。

盛岡ランチ サンキューパーティー

11月30日盛岡市立総合プールにおいて、日頃、スペシャルオリンピックス日本・岩手の活動に協力いただいている、コーチ、ボランティアの方々をお招きして感謝の気持ちを伝えるサンキューパーティーが開催されました。アスリート、ファミリー、コーチ、ボランティアの方々総勢50名の皆さんに参加していただきました。

アスリートは日頃の感謝の気持ちを込めて、お礼を伝えました。ゲーム大会では「新聞紙でポン」「タオルゲーム」「すわってバレー」をチームに分かれて行いました。どのゲームも楽しみ、特にすわってバレーでは、サーブありアタックあり、ボールを落とさないようにワンチームで歓声と笑いに包まれ、応援ギャラリーも一緒になってボールを追いかけて熱く盛り上がりました。その後は昼食会やビンゴ大会も楽しみました。

アスリート、コーチ、ボランティアの方々との交流を通して、今後もスペシャルオリンピックス日本・岩手の活動が皆さんと一緒に繋がっていくような、温かい笑顔あふれる交流のひとつとなりました。

＜ファミリー委員 漆原 真希＞



望月靖浩コーチ



高橋麻美コーチ

「楽しいひとときでした」「これからの指導頑張れそうです」

＜アスリートの感想＞

鶴原ゆうかさん・みなさん一日ありがとうございました。これからもよろしくね
和田晃さん・今日はゲームが楽しかった。ライオンズのみなさんお手伝いありがとうございます。ボランティアのみなさんありがとうございます。

啓発活動

★8月5日（月）～8月30日（金）まで全10回ライオンズクラブガバナーの公式訪問（全県のライオンズクラブを回る訪問）の時に同行して、「SON・岩手」の活動を全県に紹介させていただく機会が実現しました。平野理事長にアスリートやファミリーが同行する時もありました。沿岸の大船渡会場のときは、気仙ランチのファミリーも同行しました。紫波や盛岡会場のときは盛岡ランチのファミリーが同行しました。岩手県内の各ライオンズクラブの皆様はSON・岩手を紹介できたことはとても良かったと思います。ありがとうございました。

★7月9日（火）盛岡グランドホテルで開催されたトヨタレンタリース岩手「福祉事業支援セミナー」に参加しました。SON・岩手の活動について参加者に説明し、広く理解を求めました。小山田あや子、齋藤収、住吉谷文子、の3名が参加しました。



～SON・岩手アスリートのアート展覧会開催予告～

【草薙陵太さんの絵を紹介します】



『無題』

＜制作年：2019年＞

SON・岩手のアスリートは日頃スポーツプログラムで活動していますが、他分野でも活躍しているアスリートも沢山います。その中の一人草薙陵太さんのアート作品と主な展覧会歴を紹介します。

草薙陵太さんの作品制作の様子
マーカーペンを使って描いています
(2019年12月制作中)



＜主な展覧会歴＞

2007年「いわて・きららアート」優秀賞
2008年「いわて・きららアート」奨励賞
2012年「アル・ブリット・いわて」
2018年「共融地点ー日本と中国のアル・ブリットー」
2018年「以“身”伝心からだから、はじめてみる」
2019年「日本とタイのアル・ブリット-知られざる美のかたち」



※来年度（2020年度）SON・岩手は設立5周年を迎えます。記念事業としてアスリートの豊かな個性を表現するアート展覧会の開催を予定しています。

事務局・各委員会より

会員の皆様に、いずれかの委員会に所属していただきたいと願っています。ご協力お願いいたします！

SON・岩手 事務局より

★ライオンズクラブ広報誌にシリーズ掲載、「ライオンいわて」8月号～10月号にわたって、今年SON・岩手が岩手県のライオンズクラブに訪問したときの様子やポッチャ交流会でボランティアに来て下さった皆様とSON・岩手のアスリートが共にプレーした様子などが紹介されました。



★鮮やかな赤と黄緑色のTシャツが、SON・岩手の全アスリートに支給されました。プログラムや大会においてみんなで着用して、ワンチーム気持ちを一つにしていきたいです。



スポーツプログラム委員会から

今年度のスポーツプログラムはアルペンスキー、スノーシューイング、陸上競技、競泳、バスケットボール、ゴルフ、ボウリングの7つの競技で行いました。今年度は地区大会を設定せず、それぞれの競技で適切な時期を選んで、普段のプログラムの集大成としての競技会や記録会を開催しました。アスリートたちは練習の成果が発揮できるように頑張りました。2020年2月には、冬季ナショナルゲーム北海道大会が行われます。岩手からはスノーシューイングに3名のアスリートが参加します。みなさん応援をよろしくお願いいたします。
＜SP委員長 岩淵 昌文＞

ファミリー委員会から

今年はサンキューパーティーの年なので夏前からみんなで集まって考えてきました。夏の行事は持ち越しになったのですが、11月下旬のサンキューパーティーの準備をファミリー委員会全員で頑張ってきました。今年度はたくさんの方々にSON・岩手を応援していただいてアスリートもとても喜んでおり、その姿を見ることができたファミリーもとても嬉しいです。ありがとうございました。＜ファミリー委員長 佐々木 さやか＞

ボランティア委員会から

ボランティア委員会では、主に、各種競技会の運営のお手伝いや普段の練習のコーチのボランティアを行っています。ポッチャ交流会に始まり、陸上競技、ゴルフ、ボーリング、水泳、バスケット、スノーシューイングと競技も様々です。今年は、ライオンズクラブの方々も参加され、大いに盛り上がっております。各種競技のコーチ、競技会のボランティアを大いに募集しております。

一緒にボランティアを行ってみませんか？

＜ボランティア委員長 吉田 光男＞

医療安全対策委員会から

日頃より当委員会の活動に関しまして、コーチおよびファミリー、ボランティアの皆様のご協力誠にありがとうございます。今年はポッチャ交流会で参加して下さった中堤町の「うしぶくろ歯科医院」の牛袋徳道院長に8月の運営委員会でオブザーバー参加していただきました。先生の所に勤務されている障がい者歯科治療専門医の佐々木先生をご紹介いただき心強く思っています。牛袋先生には今後、アスリートの歯科関係でお力添えいただけるものと期待しています。

＜医療安全対策副委員長 小山田 あや子＞

*うしぶくろ歯科医院 院長：牛袋 徳道

診療所：盛岡市中堤町13-43

電話(019)647-8668 FAX(019)646-4519

(アスリートの歯科関係で相談したい時は、ご連絡ください。)

財務委員会から

財務委員会は、『活動をご支援くださっている団体・企業・個人の皆様に、アスリートの活躍に関心を持っていただき尚一層その輪を広げること』を目指して活動しています。

これまで、高橋精一副理事長が財務委員長も兼務し奔走されていると伺い、今年からお手伝いさせていただいております。

ご支援いただいている皆様の一覧は、事務の斎藤さんが今年全てデータベース化していただきました。私は結局、企業訪問の際理事長の隣で旗を持ってニコニコしていただけでありお役にはたてませんでした。活動を応援して下さる方々の温かさを直に感じ、自分も、できる部分で微力ながら努めていこうと思いました。どうぞ、よろしくお願いいたします。

＜財務委員 和田 美音＞

広報委員会から

★今年度よりSON・岩手のゴルフプログラムに息子が参加しています。私も広報委員会にお世話になっております。親子共々、楽しいことが大好きです。よろしくお願いいたします。

＜広報委員 根反 純子＞

★イベントや競技会にSONの赤いのぼり旗や2020北海道NGのぼり旗を毎回設置して、活動の目印にしたり、写真に撮っています。いろいろな場面で多くの方の目にとまって興味をもっていただけると嬉しいです。「知的障がいのある方にスポーツトレーニングの機会を提供する団体です。」と皆さん一人ひとりが広報していただけると嬉しいです。

*SON・岩手のホームページが開設されています。URL：<http://son-iwate.or.jp/> ご覧下さい。

*広報委員会では、広報活動に伴うお便りや広報誌の発送作業をお手伝いしていただける方を募集しています。



競泳	競泳	競泳	競泳	陸上競技	バスケット	ボウリング	ゴルフ
大船渡市 Y・Sセンター	陸前高田市 B&G海洋 センター	盛岡市立 総合プール	ふれあい ランド岩手	ふれあいランド 岩手、他	大船渡市 福祉の里 センター	盛岡 スターレーン	アホロリンクス、 南部富士CC、 他
第2、4 水曜日	第2、4 水曜日	土曜不定期 別途連絡	第2、4 日曜日	5月～10月 日曜不定期	第2、4 日曜日	第1、3 日曜日	5月～10月 別途連絡
18:00～20:00	18:45～20:45	16:00～18:00	12:45～14:45 13:45～15:45	10:00～12:00	13:00～15:00	10:00～12:00	8:30～10:30

2020冬季プログラムの予定

スノーシューイングのプログラム実施を予定しています。

実施日・・・2020年 1月～ 2月（土・日・祝日のいずれか）
 時間・・・10:00～（集合9:30）
 場・・・雫石町内
 用・・・無料
 装・・・防寒ウェア、用具
 （スノーシューは貸し出し可能）
 ＊詳細は事務局にお問い合わせください。



＊プログラム参加希望または詳細内容を知りたい方は、事務局までご連絡ください。
 ＊スポーツコーチ・ボランティアとしてアスリートとスポーツを楽しんで頂ける方を随時募集しています。スポーツの苦手な方でもアスリートのお世話や必要な補助をしてくれる方大歓迎です。
 （問い合わせ：SON・岩手事務局）

スペシャルオリンピックス(so)は非営利活動で、運営は「ボランティアと善意の寄付」によっておこなわれています

＊スペシャルオリンピックス日本・岩手をご支援頂いている皆様（2019年1月～2019年11月受付分）＊

東北電力労組（本部） SON・岩手の全てのアスリートにウェアを提供いただきました。

連合岩手 2019年度「連合・愛のキャンパ」の取り組みの中で、SON・岩手の活動や内容が認められ、20万円の助成金を頂くことができました。

**みちのくコカコーラボトリング(株)、岩館電気(株)、オーエム通商(株)、
 (株)高光建設、(株)トヨタレンタリース岩手、
 村上孝・佐原茂樹土地家屋調査士合同事務所**

**岩手トヨペット(株)、いわて生活協同組合、(株)三ツ星商会、
 盛岡ニッタン(株)、村田畳店**

(有)渥美工務店、(株)泉商店、(株)キムラ、(株)高建重機、東北電力(株)岩手支店、盛岡ガス(株)、
 (株)モリレイ、菱和建設(株)、盛岡ターミナルビル(株)、(株)北日本銀行、樋下建設(株)、
 (株)谷地保険事務所、(株)岩手朝日テレビ、(株)遠忠、(株)ふじさわエヴァホール、
 きたぎんリース・システム(株)、(有)システムファニチャー、(株)鈴木測量設計、(株)東北銀行、
 田野畑村ライオンズクラブ、(株)中原商店、(株)岩手日報社、東北住建(株)、東北電力労組岩手本部、
 徳清倉庫(株)、パーツステーションジャパン、(有)袴田硝子店、畠山大、(有)平塚工務店、大伸工業(株)、
 (株)IBC岩手放送、岩館仁、盛岡ライオンズクラブ、(有)岩手自動車電機、(有)モチコムジャパン、
 三寿司、盛岡ターミナルビル(株)、(有)山口コウト工業、吉村彰悟・玲子、岩手銀行(株)、(株)御幸造園

内館政光、大久保弘、大沢英夫、岡村房子、国分牧子、佐藤薫、佐藤優美子、佐々木瑞瑛、佐々木和一郎、佐藤由美子、
 達下雅一、千葉龍二郎、野田武則、赤坂國彦、平野ユキ子、高橋友三、Rita税理士法人、齋藤淳子、佐々木和彦、島田邦守、
 鈴木礼子、松崎たか子、松田恭一、三浦志津子、村井研一郎、大坊真紀子、高橋淑子、高橋貴子、辻裕子、(株)東北ガス圧接
 富塚ツヤ子、中田廉平、(有)難波板金、野原勝、花柳美寿晴、山本京子、吉田長美、吉村智恵、吉村綱紀、吉村正博、米澤利次
 （以上、敬称略 順不同）

＊ニュースレターの印刷は富士ゼロックス
 岩手(株)のご協力を頂きました。

＊期間内に入会された方でも事務処理上の理由で、お名前の掲載が遅れること
 がありますことをご了承ください

（問い合わせ）〒020-0085 岩手県盛岡市紺屋町4-24

Tel/Fax : 019-613-5277

URL : <http://son-iwate.or.jp/>

E-mail : iwate@son.or.jp (変わりました)

火曜日と金曜日 10:00～15:00 在局

NPO法人 スペシャルオリンピックス日本・岩手 事務局

皆様との出会いに心から感謝いたします。心温
 まるご支援、ご協賛を賜りました団体及び個人
 の皆様には厚く御礼申し上げます。これからも
 何卒よろしくお願いいたします。